



第20回やまなし県民文化祭

文学作品 公募要項

- 趣 旨** 県民のだれもが気軽に参加し、楽しみ合う中で文学創作活動の活発化を期待し、それによって本県の文学振興をはかる。
- 種 目**

小説＝B4 縦書き 400 字詰原稿用紙 30 枚以内とする。
 児童文学（子どものための文学、ヤングアダルト小説など）
 ＝A4 縦書き 400 字詰原稿用紙 20 枚以内とする。
 エッセイ＝A4 縦書き 400 字詰原稿用紙 5 枚以上 10 枚以内とする。
 詩 ＝A4 縦書き 400 字詰原稿用紙を使用し、本文 60 行以内 1 人 2 篇以内とする。
 短 歌＝B4 縦書き 400 字詰原稿用紙を使用する。1 人 10 首。
 俳 句＝A4 縦書き 400 字詰原稿用紙を使用する。1 人 10 句。
 川 柳＝B4 縦書き 400 字詰原稿用紙を使用する。1 人 10 句。
- 募集期間** 令和 3 年 10 月 1 日（金）～ 10 月 31 日（日）（当日消印有効）
- 応募料** 1 人につき 1,000 円（1 作品につき 1,000 円ではないので注意。複数応募の場合も応募料は 1,000 円
 でよい）。
 作品応募の際、応募者氏名（本名）にて下記口座に応募料を振り込み、応募料を振り込んだ際の利用
 明細等、振り込んだことがわかる用紙（コピー可）を同封すること。現金や郵便定額小為替証書での
応募は不可。郵便法違反となるため、絶対に現金を同封しないこと。
【振込先】 山梨中央銀行県庁支店 普通）630800
 やまなし県民文化祭実行委員会（文学部門）
- 送り先・**
問い合わせ先 〒 400-8501 甲府市丸の内一丁目 6-1
 やまなし県民文化祭文学作品公募係（県文化振興・文化財課 文化芸術振興担当）
 TEL 055-223-1797
- 発 表** 令和 4 年 1 月中旬～下旬に受賞者へ通知する。
 入賞・入選作品は「県民文芸」に掲載する。（令和 4 年 2 月下旬に発行予定）
 なお、発表までは受賞作品・作者についてのお問い合わせにはお答えすることはできません。
- 表 彰 式** 令和 4 年 2 月 26 日（土）に県立文学館研修室において行う。
- 選 奨** 種目ごとに県民文化祭賞（賞金 3 万円）、優秀賞若干名を選奨する。
 なお、優秀賞の中で特に優秀な作品については準県民文化祭賞を授与する場合もある。
- 審 査 員** 裏面参照
- 応募規定**

A) 山梨県民（在住・在勤・在学）及び出身者。
 B) 応募票（コピー可）に必要事項を明記し、切り取って各作品すべての 1 枚目の裏面左下に貼る（裏
 面記入例を参照）。
 C) タイトルは原稿用紙 1 枚目の表面に、氏名（ペンネーム）は 1 枚目の裏面右下に記載する。
 D) 応募原稿はパソコン（ワープロ）の使用も可。その場合、A4 用紙に 20 字× 40 行の縦書で印刷する。
 E) 小説、児童文学、エッセイ、詩の原稿には必ずページ数を記載すること。
 F) 短歌、俳句、川柳の原稿は必ず 1 枚の原稿用紙に全首・句を記載すること。
 G) 各作品 1 枚目の表面右上の余白に種目（小説・俳句・川柳などの別）を明記（朱書）する。
 H) 作品はすべて未発表であること。既発表作品が入賞した場合は取り消す。
 I) 応募作品は入選発表（県民文芸発刊）までは他に投稿又は発表してはならない。
 J) 同一種目に複数のペンネーム等を用い、2 の種目の項に定める制限を超えて投稿してはならない。
 K) 自筆による場合、鉛筆の使用は禁止（ボールペン・万年筆使用）、楷書で明確に書くこと。
 L) この要項に該当しないものは審査の対象としない。
 M) 応募作品の訂正ならびに差し替えはしない。但し、審査後、誤字脱字等の修正をお願いする場合
 があります。
 K) 応募作品は返却しない。
- その 他**

○応募された方の個人情報は、第 20 回やまなし県民文化祭（文学部門）のみに使用（県民文芸への
 掲載、入賞入選者の氏名等の公表を含む）し、その他の目的に使用することはありません。
 ○文学作品をご応募いただいた方全員に、県民文芸を 1 冊贈呈いたします。
 ○来年度の文学部門公募要項を希望する方は、要項送付用返信用封筒（郵便番号・住所・氏名を記入
 し、左下に「文学要項希望」と朱書きしたもの）及び申込書を郵送してください。作品を応募され
 る方は同封してお送り頂いて結構です。
 ○表彰式に際しては、新型コロナウイルス感染症の予防対策にご協力ください。
 また、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、表彰式の中止や内容変更が生じる場合がございます
 ですので、ご了承ください。

主催 山梨県・やまなし県民文化祭実行委員会 共催 山梨県芸術文化協会・山梨県文化協会連合会・山梨県高等学校文化連盟

| | | | |
|--|---|----------------|-------------|
| 第 20 回やまなし県民文化祭 文学作品応募票 ※作品 1 頁目裏面にのりづけする | | | |
| 応募料を振り込んだ際の利用明細等、 <u>振り込んだことがわかる用紙（コピー可）</u> を同封します。 | | | |
| 種 目 | | 作 品 名 | (短詩型はあれば記入) |
| ふりがな | | ふりがな | |
| 氏名(本名) | | ペンネーム (あれば) | |
| 現 住 所 | 〒 | 電 話 番 号 | () |
| 住所が山梨で ない場合、出身地 | | 携 帯 電 話 | () |
| 年 齢 | | 性 別 | 男 ・ 女 職 業 |

| | | | |
|-----------------------------------|---|---------|-------|
| 来年度（第 21 回やまなし県民文化祭）の文学部門公募要項 申込書 | | | |
| 返信用封筒（郵便番号・住所・氏名記入済み）を添えて申し込みます。 | | | |
| 氏名 | | 電 話 番 号 | () |
| 住 所 | 〒 | 携 帯 電 話 | () |
| 第 20 回県民文化祭 文学作品の応募 | | | 有 ・ 無 |

『県民文芸』購読のご案内

第 20 回やまなし県民文化祭文学部門の入賞入選作品を掲載する「県民文芸」を有料で配布します。購入を希望される方は、下記申込書に記載のうえ、振込先に冊子代と送料分の料金を振り込み、振り込んだ際の利用明細等、振り込んだことがわかる用紙（コピー可）を同封し、送り先までご郵送ください。
 ※文学作品を応募した方には、1 冊贈呈致します。2 冊以上希望の方は、下記申込書によりご購入ください。
 ※文学作品を応募していない方も購入できますので、上記の方法でお申込みください。
 ※購入後、3 月 11 日（金）までにお手元に届かない場合は、下記問い合わせ先までご連絡をお願いします。

- 料 金 「県民文芸」1 冊 1,500 円（送料 何冊でも 200 円）
- 振 込 先 山梨中央銀行県庁支店 普通）630800
 やまなし県民文化祭実行委員会（文学部門）
- 送 り 先 ・ 問 い 合 わ せ 先 〒 400-8501 甲府市丸の内 1-6-1
 やまなし県民文化祭文学作品公募係
 TEL 055-223-1797

| | | | |
|---|---|---------|------------------------------------|
| 『県民文芸 2021』申込書 | | | |
| 冊子代・送料を振り込んだ際の利用明細等、 <u>振り込んだことがわかる用紙（コピー可）</u> を同封します。 | | | |
| 注冊冊数 | 冊 | 代 金 | 1,500 円× 冊 (注冊冊数) + 200 円 (送料) = 円 |
| 氏 名 | | 電 話 番 号 | () |
| 住 所 | 〒 | | |

〈記入例〉

ページ数

朱書

種目・「タイトル」

No. _____

400 字 詰 原 稿 用 紙

1 枚目 表面

氏名（ペンネーム）

文学作品応募票

1 枚目 裏面

〈審査員プロフィール〉

| | |
|--------|---|
| 小 説 | <p>石黒 佐近（いしぐろ さこん） 甲府市在住。京都府立大学卒業、同大学大学院農学研究科修士課程修了。「山峡」で樋口一葉記念第 23 回やまなし文学賞受賞。2021 年「甲斐の夜長」で山日新春文芸入選。元山梨県庁職員。山梨文芸協会会員。</p> <p>小池 映二（こいけ えいじ） 甲府市在住。明治大学卒。山梨文芸協会会員。小説合評会会員。著書「まいべえら」、「道祖神祭り」、「力を抜いて自然体」等。</p> |
| 児童文学 | <p>犬飼 和雄（いぬかい かずお） 甲府市在住。東京大学文学部卒。法政大学名誉教授、元四川大学客員教授。小説『緋魚』で文学界新人賞受賞。『記紀に見る甲斐酒折王朝』『でいだらぼっちの松』他著書、翻訳書多数。</p> <p>宮澤 賢治（みやざわ けんじ） 甲府市生まれ。東京大学文学部卒。白百合女子大学名誉教授。同人誌「無人塔」（詩誌）、「こぶんたん」（児童文学誌）等で指導。日本ペンクラブ・日本児童文学学会・日本近代文学学会会員。著書に『宮澤賢治－近代と反近代』『夏目漱石の文体』『北原白秋－童心のかなたに』等がある。</p> |
| エッセイ | <p>水木 亮（みずき りょう） 早稲田大学卒業、同大学院文学研究科修士課程修了。小説『祝祭』で第 16 回織田作之助賞、小説『お見合いツアー』で第 49 回農民文学賞、小説『峠の念仏踊り』で第 62 回地上文学賞受賞。「文芸思潮」エッセイコンクール審査員、石橋湛山平和賞 論文・エッセイ審査員。演劇指導、エッセイ教室など幅広く活躍。著書に『山梨の民俗芸能』等。</p> <p>入倉 文子（いりくら あやこ） 甲府市生まれ。東京女子大学卒業後、山梨英和中・高等学校教諭、山梨英和大学非常勤講師を経て、現在、山梨県歯科衛生専門学校講師。「国語専門教室つばさ」を開き、文章指導を実施。</p> <p>八木 春夫（やぎ はるお） 甲府市在住。エッセイ花みずきの会々員。著書、エッセイ集『黄昏飛翔』。</p> |
| 詩 | <p>安藤 一宏（あんどう かずひろ） 鯉沢町（現富士川町）生まれ。東京農業大学農芸化学科卒。山梨県庁で農業技術研究に従事、定年まで勤務。日本現代詩人会・日本詩人クラブ会員、山梨県詩人会前会長、詩誌「羅針」、「稜線」「微小宇宙」同人。著書に詩集『夢の原型』『燃えない木』等がある。</p> <p>雨宮 慶子（あめみや けいこ） 1954 年山梨県甲府市に生まれる。10 代より（詩作・俳句・短歌等の創作）を開始。第一詩集「生掛」（1983 紫陽社）、第二詩集「熱射」（1989 書肆山田）、CD-ROM「アジア物語」（翔泳社）。その他詩歌集等。文学活動の他、美術や音楽を取り入れたプロデュースにも独特の境地を開示している。富士吉田文化祭詩部門選者。「人ねっこアート」選考委員。</p> |
| 短歌 | <p>三枝 浩樹（さいぐさ ひろき） 甲府市生まれ。「反措定」「かりん」「りとむ」の創刊に参画。現在「沃野」代表。日本歌人クラブ・現代歌人協会会員、山梨県歌人協会会長。著書に歌集『朝の歌』『銀の驟雨』、評論集『八木重吉たましひのスケッチ』等がある。</p> <p>古屋 正作（ふるや しょうさく） 黒駒村（現笛吹市御坂町）生まれ。「樹海」創刊に参加、「国民文学」入会・千代國一に師事。「樹海」代表。日本歌人クラブ・現代歌人協会・山梨県歌人協会会員、山梨県芸術文化協会会員、毎日新聞山梨版「甲信文園」短歌欄選者。著書に歌集『殻の中に』『秒刻の者』『輪廻』『縁』がある。</p> <p>河野 小百合（こうの さゆり） 山梨県生まれ。「みぎわ」短歌会に入会し、上野久雄に師事。現在代表。山梨日日新聞社歌壇選者。NHK学園講師。山梨英和大学メイプルカレッジ講師。なかみち短歌大会ジュニアの部選者。第 6 回歌壇賞受賞。現代歌人協会会員。日本歌人クラブ会員。著書に歌集『私をジャムにしたなら』『マリアのいない夏』『雲のにおい』。</p> <p>白倉 一民（しらくら かずたみ） 安都玉村（現北杜市高根町）生まれ。「新宴」に入会、大野とくよに師事（現在・副代表）。「じゆうにんのかい」会員（運営委員）。日本歌人クラブ会員（山梨県代表幹事）。山梨県歌人協会（幹事）。歌集に「地図のゆくえ」がある。</p> |
| 俳句 | <p>井上 康明（いのうえ やすあき） 二十代から俳句を始め、「雲母」入会・飯田龍太に師事。廣瀬直人主宰「白露」創刊同人。「郭公」創刊。毎日俳壇・山梨日日新聞俳句欄選者。著書に句集『四方』『峡谷』がある。</p> <p>保坂 敏子（ほさか としこ） 山梨県生まれ。「雲母」入会・飯田龍太に師事。「雲母」同人、「白露」創刊同人、「今」創刊同人。第 7 回雲母選賞受賞。著書に句集『芽山椒』、アンソロジー『現代俳句の新鋭』、俳句鑑賞『鑑賞 女性俳句の世界』第四巻等がある。</p> <p>長田 群青（おさだ ぐんじょう） 市川三郷町在住。「雲母」、「白露」を経て、現在「郭公」編集同人。飯田龍太、廣瀬直人に師事。山梨文化学園講師、山梨ことぶき勸学院講師。著書に句集『霽日』『押し手沢』がある。</p> <p>宮下 時雨（みやした しぐれ） 昭和 6 年、富士吉田市生まれ。公益社団法人 俳人協会 山梨支部 支部長、公益社団法人 俳人協会 評議員、日本現代詩歌文学館 評議員、俳句の館 風生庵 支援協議会 理事長、岳麓俳句協会 顧問、俳誌「若葉」「岬」無鑑査同人。</p> |
| 川柳 | <p>玉島 よ志子（たましま よしこ） 甲府市生まれ。山梨市在住。「甲斐野社」代表同人、現代詩歌文学館振興会評議員、山梨県川柳協会名誉会長、山梨日日新聞社文芸川柳選者。</p> <p>井上 信太郎（いのうえ しんたろう） 富士川町生まれ、在住。「甲斐野社」発行人、県川柳協会名誉会長、富士川町文化協会川柳部長、山梨新報時事川柳選者。旧増穂町芸術祭賞、山梨県川柳大会知事賞、山梨県芸術祭優秀賞、山梨県芸術祭賞・実賞、春雨賞受賞。</p> <p>望月 たか美（もちつき たかみ） 南部町生まれ、甲斐市在住。「青空」同人、「一の枝」同人、代表。山梨県川柳協会会長を経て顧問。著書に句集『信玄堤』等がある。</p> <p>木村 源子（きむら もとこ） 甲府市在住。川柳「枝の会」代表。山梨県川柳協会副会長。山梨県芸術祭優秀賞、やまなし県民文化祭賞、同優秀賞、金田一春彦ことばの学校方言川柳知事賞、山日芸芸年度賞、甲府市男女共同参画川柳最優秀賞。</p> |